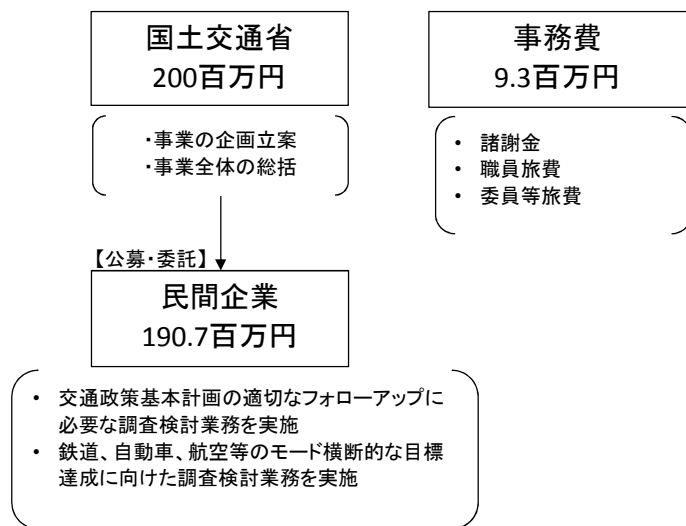


平成27年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )

<b>事業名</b>	交通政策基本計画の実現による交通政策の総合的な推進			<b>担当部局庁</b>	総合政策局公共交通政策部	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	参事官(総合交通)	岩城 宏幸		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	8 都市・地域交通等の快適性、利便性の向上 27 地域公共交通の維持・活性化を推進する			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	交通政策基本法 第8条 等			<b>関係する計画、 通知等</b>	交通政策基本計画			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	交通政策基本法が提示する交通政策の長期的な方向性や、「国土のグランドデザイン2050」で示した「コンパクト+ネットワーク」の考え方を踏まえつつ、交通政策基本計画に定めた具体的な取組について、総合的かつ計画的に着実に推進していく。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	交通政策基本計画の各施策の進捗状況について、適切にフォローアップを行うとともに、交通政策基本計画のフォローアップを踏まえ、鉄道、自動車、航空等のモード横断的な目標達成に向けて、特に取組の強化が必要な施策の推進に向けて必要な調査・検討を実施。							
<b>実施方法</b>	委託・請負							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	0	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	0	200	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	各種施策の進捗状況を把握し、交通政策基本計画の着実に推進のため反映させる	交通政策基本計画に規定する施策のうち、施策が順調に進捗している割合	成果実績		-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	80
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	交通政策白書の作成を通じた交通政策基本計画の進捗状況の報告	活動実績	回	-	-	-	-	
		当初見込み	回	-	-	-	-	
<b>単位当たり コスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	交通政策白書関係費/活動実績件数	単位当たり コスト	-	-	-	-	-	
		計算式	-	-	-	-	-	
平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	3					
	職員旅費	-	3					
	委員等旅費	-	3					
	地域公共交通維持・活性化 推進調査費	-	191					
	計	0	200					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	「骨太の方針2015」に位置づけられているものであり、豊かな国民生活に資する使いやすい交通の実現という観点からも、社会的ニーズは高いものであると考える。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	交通政策については、交通政策基本法に基づき、関係者とも協働しつつ、国が責任を持って推進する必要があるとされている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	交通政策基本計画を着実に推進するためには、各種施策の進捗状況を適切にフォローアップする必要があるため、本事業を実施する。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	我が国が直面する経済社会面の大きな変化に的確に対応し、将来にわたって国民生活の向上と我が国の発展をしっかりと支えることができる交通体系を構築する必要がある。このためには、交通政策基本計画を着実に推進することが必要であり、本計画の実現性を担保するために、施策の実施状況について適切なフォローアップを行うことが極めて重要である。			
	改善の方向性				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
交通政策基本計画の適切なフォローアップを行うとともに、同計画に規定する各施策を着実に推進するための効果的な調査事業として、効率的に執行できるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)